



- 1 伊藤 大輔 (市民フォーラム)
 - ①選挙運営事務
 - ②子どもたちの教育と福祉
- 2 安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)
 - ①災害時オストメイト支援について
 - ②アール・ブリュットについて
 - ③残骨灰について
 - ④選挙事務について
- 3 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会) ★
 - ①スポーツ施策について
 - ②根川緑道について
 - ③地域学習館について
 - ④土砂災害防止法について
 - ⑤南口の活性化策について
- 4 若木 早苗 (日本共産党) ★
 - ①長時間労働の解消や過労死をなくす取り組みについて
 - ②教育行政について
 - ③米軍横田基地について
 - ④砂川地域のまちづくりについて
- 5 瀬 順弘 (公明党) ★
 - ①防災の取り組みについて
 - ②市営住宅について
 - ③富士見町の道路に関する要望について
 - ④文化芸術活動の発表の場について
- 6 高口 靖彦 (公明党) ★
 - ①電子行政・電子社会について
 - ②障がいのある人もない人もともに暮らしやすい立川をつくる条例(仮称)制定に向けて
 - ③入札について

- 7 山本みちよ (公明党) ★
 - ①立川市の平和事業について
 - ②市民の利便性向上のために
 - ③生活困窮者自立支援事業の任意事業について
 - ④地域の諸課題について
- 8 松本 まき (市民フォーラム)
 - ①選挙投票率向上のための取り組みや主権者教育について
 - ②不妊治療助成金について
 - ③危機管理体制について
 - ④空き家対策について
- 9 門倉 正子 (公明党) ★
 - ①人生100年時代を見据えた健康づくりについて
 - ②高齢者支援に関する施策について
 - ③子育て支援の充実について
 - ④防災対策について
- 10 福島 正美 (公明党) ★
 - ①立川らしい特長ある自治会応援条例の制定について
 - ②小児初期救急診療の拡充について
 - ③スタンドパイプの地域への早急な配備について
 - ④歩行者中心の街並み整備について
- 11 佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)
 - ①商工業者の現状について
 - ②若葉台小学校建設の進捗状況について
 - ③砂川七番交差点渋滞問題について
- 12 松本あきひろ (たちかわ自民党・安進会)
 - ①立3・1・34号中央南北線南進について
 - ②富士見町周辺地域のよりよいまちづくりについて
 - ③健康なまちづくりについて
- 13 太田 光久 (市民フォーラム)
 - ①子どもの貧困対策について
 - ②介護保険制度について
 - ③認知症対策について
 - ④競輪事業の推進について
- 14 木原 宏 (たちかわ自民党・安進会) ★
 - ①来年度の予算編成について
 - ②武蔵砂川駅周辺のまちづくりについて
- 15 大沢 純一 (公明党) ★
 - ①自殺対策について
 - ②学校給食について

- 16 中山ひと美 (たちかわ自民党・安進会)
 - ①おいしくて・安全・安心な給食を提議するために!
 - ②工事を完了に伴う検査について
 - ③Tokyo2020「オリンピック・パラリンピック」を夢のせて
 - ④まちづくりについて
- 17 中町 聡 (日本共産党) ★
 - ①選挙事務について
 - ②立川スケートボードパークについて
 - ③都市計画道路 立3・3・30号線について
- 18 永元須摩子 (日本共産党) ★
 - ①高齢者が安心して過ごせる環境について
 - ②保育園や学童保育所の施策について
 - ③市民に寄り添った窓口対応や福祉の対応について
- 19 上條 彰一 (日本共産党) ★
 - ①入札制度改革について
 - ②国民健康保険について
 - ③教育負担の軽減について
- 20 稲橋ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク) ★
 - ①子育て・子育てを応援する立川市の保育園のあり方について
 - ②武蔵砂川駅周辺のまちづくりについて
 - ③まちづくりを市民協働ですすめるために
- 21 大沢 豊 (緑たちかわ) ★
 - ①子どもの貧困対策としての学校給食
 - ②立川市の無縁墓について
 - ③職員のあり方について
- 22 谷山さよ子 (立川・生活者ネットワーク) ★
 - ①市民自治はまちづくり、まちづくりは市民自治。市民参加で立3・3・30沿道地区の街づくりを
 - ②夜間中学と就学援助
 - ③学校給食のあり方は、子どもたちにとって最善のあり方に。衛生管理上の安全性に固執せず、単独調理校の維持を。市民参加で1日も早い中学校完全給食を!
 - ④(仮称)街路樹更新計画の大まかな考えとスケジュールは?

災害時のオストメイト支援を

装具保管について2法人と覚書を締結
安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)

問 人工肛門・人工膀胱を造設したオストメイトの方々への心配は、災害時に支援ルートが確立するまでの装具品の確保です。各自が数週間分準備をされていますが、自宅が倒壊し持ち出せないことも考えられます。市は2月1日に市内全ての社会福祉法人と「災害時における災害活動等の支援に関する協定書」を結んでいます。その中で、社会福祉法人の施設で装具品の保管場所を確保していただくなどできないでしょうか。

答 平成29年11月現在、市内には25名のオストメイト造設者がいます。今回締結した協定の支援内容は、避難所として主に要配慮者等の受け入れなのですが、災害時のオストメイト支援として、二つの法人と災害時用ストマ装具の保管について覚書を締結しました。12月の障害者週間には、オストミー立川つむぎの会が市役所でパネル展示を行いました。今後も理解促進や、さまざまな団体と災害時の支援・協力体制の充実を図ります。

利便性向上のため、共通投票所の導入を

システム開発等の状況を注視し、検討したい
伊藤 大輔 (市民フォーラム)

問 昨年10月の衆議院議員選挙の投票率は、26市中、下から3番目の56パーセントで前回よりも下がりました。投票環境の利便性を向上させた結果、投票率が向上した自治体もあり、期日前投票所の開設日数の延長など検討していただきたい。また出かけるついでに投票したいという声も多いため、投票日当日に住民登録があれば、指定投票所以外でも投票できる共通投票所の導入を、商業施設などへの設置も含め提案します。

答 投票環境の改善のため、今年度の選挙より窓口サービスセンターに期日前投票所を開設しました。開設日数や投票所の増設等については、選挙管理委員会に報告し相談します。また共通投票所は、二重投票を防ぐ選挙人名簿対照のオンライン化など課題があります。投票環境向上の取り組みとして有効な施策と考えており、システムの開発状況など今後の動向を注視しながら、市民の利便性を高められるよう検討していきたい。

教員と市職員の長時間労働の解消を

長時間労働の是正に取り組む
若木 早苗 (日本共産党)

問 都の教員の時間外労働実態調査で、過労死ライン相当の教員が、小学校で34パーセント、中学校で62パーセントを占めるということがあります。こうした実態を改善し、現場から発信がしやすいよう、勤務時間を把握するためのタイムレコーダーを早急に設置すべきです。また、市職員の時間外労働はこの部署が多いのでしょうか。また市では、時間外労働、長時間労働を解消する取り組みについて何か考えているのでしょうか。

答 都の教員の勤務実態調査結果は、本市でも同様と捉え憂慮すべき事態だと考えます。タイムレコーダーの導入は、教員の働き方改革プラン検討委員会検討中です。市職員の時間外勤務は福祉や都市インフラ系、事業を実施する職場、官房系職場などが多くなっています。市では平成29年6月に市長がスマートワーク宣言を行い、働き方改革推進部会を立ち上げて検討してきました。管理職も含め長時間労働の是正に取り組んでいきます。

立川駅南口58街区施設の活用は

コミュニティFM放送で、地域総合情報を発信
江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)

問 都との合築施設である立川駅南口の58街区事業の進捗状況を伺います。市長は、広域連携サミットなどで「観光情報に限らず、産業や子育てなど幅広い情報発信を考えている」と発言しましたが、タクロスの本市観光案内コーナーや、都の東京観光情報センター多摩と機能が重複しないのでしょうか。南口の新たなにぎわいと多摩の魅力発信拠点としての施設3階の情報発信スペースなどの活用についてお示しください。

答 58街区の施設は、地上7階、地下1階建ての計画で、平成33年度後半の供用開始に向け、30年度末頃に都が本体建設工事に着手する予定です。3階の情報発信スペースは、コミュニティFM放送を通じて、本市や多摩地域の観光、産業、子育て、市民活動、防災など地域総合情報の発信拠点として活用し、1階に予定している地域特産品等販売スペースとも連携し、南口のにぎわい創出や施設の集客等の相乗効果を図っていきます。

○議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。